

## 2003 年度日本語教育実習概要

門脇恵利子・進藤みのり・矢嶋直子<sup>1</sup>

2003 年度日本語教育実習は門脇恵利子、進藤みのり、矢嶋直子の3名が参加し、以下のとおり2つの班に分かれ実習を行った。

「年少者日本語教育実習」(参加者：進藤みのり、矢嶋直子)

「留学生センター日本語教育実習」(参加者：門脇恵利子)

また、共通の実習として以下を受けた。

「日本語・日本事情の授業見学」(参加者：門脇恵利子、進藤みのり、矢嶋直子)

以下にそれぞれの概要をまず記す。

### 「年少者日本語教育実習」

年少者日本語教育実習は、事前研修を含め第1期から第3期に分けられる。

- 第1期 2003年2月から3月の1ヶ月間日本語教育実習事前研修として、4名の研修生が長野県長野市の公立小学校の取り出し学級において授業見学及び授業補助に入った。事前研修は信州大学教育学部と共同で行われた。
- 第2期 2003年6月19日から7月24日まで年少者日本語教育実習として長野県松本市内の小学校で2名の実習生が授業を参観した。長野県松本市A小学校ではエジプト国籍の児童2名が在籍する学級を週1回見学し、長野県松本市立M小学校においては外国籍児童支援のための取り出し学級を1回見学した。さらに長野県松本市立A小学校の在籍学級の担任の先生にインタビュー調査を実施し、授業を参観するだけでは知りえなかった外国籍児童の情報や、教育観などを聞くことができた。
- 第3期 2003年10月から2004年3月にかけて年少者日本語教育実習とは別の研究活動として、教官と1名の実習生が引き続き長野県松本市立A小学校を訪問した。しかし、外国籍児童の1名が帰国し、もう1名も同じ市内の公立小学校に転校した。そのため、転校先

---

<sup>1</sup> 信州大学人文学部文化コミュニケーション学科 日本語教育学専攻 4年生。

の長野県松本市立〇小学校を訪問し、引き続き参観を行った。

#### 「留学生センター日本語教育実習」

2003年4月18日から9月5日まで（8月はセンターが夏休みに入るため休み）信州大学留学生センターで毎週金曜日に行なわれる教室外活動に1名の実習生が参加した。教室外活動は留学生センターで学習しているAクラス（初級）の学習者4名、Bクラス（中級）の学習者3名と2名の教官によって行われ、授業補助という形で参加した。

#### 「日本語・日本事情授業見学」

共通実習として、実習生3名が留学生センター教官による日本語・日本事情の授業見学を行った。共通教育課程における日本語の表現中心の授業と、日本の歴史に関する授業の全2回を見学した。この実習から自分達が学んだ理論を生かした授業とはどのようなものか体験的に理解することができた。また選択実習以外の日本語教育の現場を見たことで、日本語教育の多様性を知ることができた。

次の頁から「年少者日本語教育実習」と「留学生センター日本語教育実習」の活動の報告と記録を分けて、それぞれ以下の順に記す。

- ① 年少者日本語教育に関する研究実習報告
- ② 日本語教育実習から学んだこと
- ③ 2003年度年少者日本語教育実習記録
- ④ 2003年度日本語教育実習記録信州大学留学生センターにおけるプロジェクトワーク

なお、「日本語・日本事情授業見学」の活動の記録は、「留学生センター日本語教育実習」の活動報告の中に記す。

（執筆担当）矢嶋直子